

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第1回西東三鬼賞	大賞	やさしさうな鱧に囲まれ昼寝覚	浜田 喜夫	兵庫県
	秀逸	木枯一号村の男を攫ひけり	池田 崇	秋田県
	秀逸	駆け落ちの神もあるべし神無月	永田 幸而	山口県
	秀逸	手花火やこの子いつかは背くかも	横田 昭子	大阪府
	秀逸	寒泳を握りこぶしで見えておりぬ	松本 和子	群馬県
	秀逸	のし餅を蒲団とおもふ遠い初夜	酒井 破天	愛知県
	秀逸	ひとすじのなめくじ照す月の飢	大沢 裕美	埼玉県
	秀逸	揺れ椅子を漕ぎたる父の夏終わる	金 三路	秋田県
	秀逸	働きて淋しとおもふ冬の森	中村 比呂士	石川県
	秀逸	壁いくつ抜けて来たし祭笛	橘 孝子	大阪府
	秀逸	一つ家行くに芒は刈られけり	中村 愼六	群馬県
	佳作	閉居して南山を見ず蝮酒	真木 樵子	千葉県
	佳作	握手して枯野大きくなりけり	掛井 広道	静岡県
	佳作	死の淵に人形座る花月夜	林 眞二	静岡県
	佳作	蟋蟀の顔洗いおる夕べかな	山根 亀次	兵庫県
	佳作	富有柿の熟れて脚立の妻若し	七条 梵想	神奈川県
	佳作	里人に問へば竹伐る筈かな	広 波青	三重県
	佳作	ゆるし合ふ野犬の眼冬ぬくし	永島 直子	群馬県
	佳作	巣箱より何んの嘴神の留守	服部 圭伺	島根県
	佳作	翼なき腕組みやすし雁の頃	村野 秋果	愛知県
	佳作	残党のやうに婆をり婆をり草いきれ	吉田 舟一郎	高知県
	佳作	年の瀬やからくり時計をみて帰る	堀内 茂生	岡山県
	佳作	どの山も名前のありて眠りけり	阿部 菁女	宮城県
	佳作	切株が恍惚とあり茂る中	篠田 重好	埼玉県
	佳作	あくがれのひとつに客死いかのぼり	鈴木 紀子	埼玉県
	佳作	蝉の死に空き箱のやうな空がある	児島 義人	兵庫県
	佳作	桃の種戸籍汚してしまいけり	喜多 陶子	京都府
	佳作	霧晴れる迅さで行方知れずかな	みよし 節子	埼玉県
	佳作	作州の寺の子であり烏瓜	堀江 かつみ	大阪府
	佳作	墓なにも言わずにいなくなる	中川 節女	愛知県
	佳作	哨兵のような独居冬深し	渡辺 茂	愛知県
	佳作	咳けば吾が身の自由闇の中	松本 文子	栃木県
	佳作	大根抜きし穴あまたあり自祝の日	木村 澄夫	兵庫県
	佳作	行き交いし言葉のあとの藪蚊かな	久保 純夫	大阪府
	佳作	春昼の箱ごと燃やすカンカン帽	神野 久江	大阪府
	佳作	いくたびも道をたづねし西東忌	渡辺 清美	岡山県
	佳作	広島は豪雨なりけりヒロシマ忌	天野 慶子	東京都
	佳作	飯だけのめし食うひとり夜の長き	青柳 栄昌	愛知県
	佳作	母の荷のひとつは赤子土用波	後藤 眞吉	東京都
	佳作	海開き祝詞上ぐ間も波寄せる	斎藤 由美子	栃木県
	佳作	木守柿母がすべてでありしころ	松本 勝枝	東京都

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第2回西東三鬼賞	大賞	航空母艦稲妻のたび横たわる	本多 脩	福井県
	秀逸	紅生姜むかしばなしのみな貧し	伊与田 三千代	愛知県
	秀逸	母の忌のにんじんだいこいもかぼちゃ	臼井 千百	北海道
	秀逸	大焚火どのてのひらもわれに向き	小西 幸一	三重県
	秀逸	初蝶の来し方行方誰も知らず	三村 武子	東京都
	秀逸	悪霊の石を眠らせ山ざくら	中根 唯生	愛知県
	秀逸	集団の椅子おりたたむ音寒し	上石 久美子	山口県
	秀逸	兵たりし日の耳となる遠花火	谷垣 昭一	兵庫県
	秀逸	いづこにか戦争があり聖夜かな	坂詰 國子	東京都
	秀逸	木枯らしの音空缶となり転ぶ	高村 薫青	岡山県
	秀逸	少年が飛魚の翅揚げ見る	佐藤 利夫	栃木県
	佳作	台風の真っ只中の両手かな	山家 栗太	三重県
	佳作	花片の浮ける吉野に難流す	前田 早苗	埼玉県
	佳作	家族皆留守の月夜は少し嬉し	三井 孝子	兵庫県
	佳作	いつか子に捨てられるもの土用干し	小山 海光	和歌山県
	佳作	噴く普賢立ちはだかれる帰省かな	吉原 吉夫	福岡県
	佳作	ロボット群星合の夜を働けり	猪股 国直	大分県
	佳作	夜盗虫取りたる箸を畝に差す	岡田 貞二	神奈川県
	佳作	枝打も我で終るか杉檜	片岡 笹子	鳥取県
	佳作	初日の出鶏舎の卵真白なり	井上 花扇	兵庫県
	佳作	木枯しに絵本の鬼が立ちあがる	小川 よしえ	群馬県
	佳作	白桃の掌上にある確かさよ	小山田 子鬼	山形県
	佳作	玄冬の山脈しろく白くあり	太田 崇山	岡山県
	佳作	風や塩せんべいの碎け良し	小峰 素子	東京都
	佳作	秋ざくらまてば必ず来る電車	上月 笠子	東京都
	佳作	一国も滅べ歯痛の冬の夜	八田 春木	茨城県
	佳作	変身を致すつもりの長湯かな	宮本 海人	岡山県
	佳作	嫁ぎきて山の重さの草を茹る	鈴木 アヤ子	高知県
	佳作	夏の海一本箸を立てにゆく	山口 剛	岩手県
	佳作	やはらかくなるまで霧の中にある	西場 栄光	静岡県
	佳作	行く秋の電車小さくなりけり	田原 秀水	千葉県
	佳作	短夜の赤子両親をみてあたり	酒井 破天	愛知県
	佳作	内向きの少年ばかり水仙花	松井 逸郎	群馬県
	佳作	兵のごと青大将に直立す	仙石 弘人	北海道
	佳作	懐かしき命綱つけ雪おろし	下斗米 一仙	青森県
	佳作	改札を呪文で通る秋日和	中里 美恵	東京都
	佳作	洗面器のぞくや鮫の群れゐたり	澤田 至耕	東京都
	佳作	寒鴉蝦夷地は影の濃きところ	八村 廣	大阪府
	佳作	地藏堂闇が詰って木の実落つ	春名 章市	岡山県
	佳作	俎に置きし眼鏡も小晦日	宮下 白泉	長野県
	佳作	石路の花犬にも夜の鬱あらん	前田 寿子	神奈川県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第3回西東三鬼賞	大賞	子を産みに身を隠しけり麦の秋	飯塚 風像	大阪府
	秀逸	月明に水輪をほどく菖蒲かな	平峯 敏巳	東京都
	秀逸	履歴書のはじめは語の葉が騒ぐ	河野 輝暉	大分県
	秀逸	なきがらを柱と呼びし桜かな	谷垣 昭一	兵庫県
	秀逸	枯野ゆく肌のぬむみの腕時計	宮村 明希	東京都
	秀逸	古戦場の風吹きすさぶピアノかな	木村 澄夫	兵庫県
	秀逸	体育がいちばん好きな子天高し	坪谷 久子	東京都
	秀逸	忽然と枕が広し秋の雨	渋谷 京子	東京都
	秀逸	山眠るナウマン象を従へて	阿部 菁女	宮城県
	秀逸	冬山のどの木も登山靴穿いて	磯村 鉄夫	愛知県
	秀逸	銀河濃し身の甌穴も音たてて	矢部 道男	鳥取県
	佳作	啓蟄や暗き穴よりヘルメット	磯崎 弘象	大阪府
	佳作	一鞭は馬との会話天高し	大橋 良江	京都府
	佳作	煮凝りや昔の祖母はよく叱り	岩永 充三	東京都
	佳作	天の川涉ってきたる子を娶る	今井 豊	兵庫県
	佳作	風花の此所から先は海の上	奥村 正夫	茨城県
	佳作	一輪車春の空より降りてくる	柿畑 文生	静岡県
	佳作	芋粥をゆっくり食べる地獄耳	中江 三青	鳥取県
	佳作	吊るされて地獄見ている唐辛子	村田 草里	神奈川県
	佳作	雪おんな子供少なくなりけり	岡島 昭二	東京都
	佳作	薬体はいづれは残り鳥雲に	関 晴彦	埼玉県
	佳作	ほととぎす千枚の田を詠みかえす	田辺 泰光	兵庫県
	佳作	カンナあかあか再会は疲れけり	三浦 文子	東京都
	佳作	北風のたびに傾く日本海	茶山 涼雨	島根県
	佳作	花八つ手どちら向いても多忙なり	松本 隆吉	福岡県
	佳作	大雪解引きずり出して牛生まれ	針谷 定史	北海道
	佳作	冬耕のぐるり鴉が三百羽	水野 文吉	岐阜県
	佳作	鞆の漕ぐ音だけになっている	八田 春木	茨城県
	佳作	雪降ってこの誕生日思い出す	加藤 常子	京都府
	佳作	まっすぐに死の見える来し雛納め	斎藤 俊子	東京都
	佳作	豊年の乳房ゆたかに太鼓うつ	遠藤 としを	鳥取県
	佳作	月明のしらほね橋を渡るなり	中根 唯生	愛知県
	佳作	眩しがる嬰に初めての鰯雲	宮下 みのる	京都府
	佳作	夾竹桃子供がなにか埋めゐる	横田 昭子	大阪府
	佳作	雁や世に仏飯の白くあり	廣田 玲子	神奈川県
	佳作	崩れ築水は静かに流れをり	荻原 枯石	栃木県
	佳作	ヒロシマや癒えがたきもの見えがたく	松崎 豊子	埼玉県
	佳作	八丁とんぼ飛ぶミサイルの着弾地	伊藤 格	岐阜県
	佳作	闇の夜しめやかに抱く海蛭	吉原 憲二	広島県
	佳作	霾や養毛剤と枯葉剤	水島 洋一	大阪府
	佳作	この国の戦後いつまで枯山河	高田 ときわ	愛知県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第4回西東三鬼賞	大賞	青空より跳ねて来たりし桜鯛	柿畑 文生	静岡県
	秀逸	桐一葉そのあと何も落ちて来ず	千島 染太郎	岡山県
	秀逸	風や穴に住みたる昔あり	辻 未知	静岡県
	秀逸	美しき珊瑚の上を泳ぐかな	加藤 博	愛知県
	秀逸	西東忌両手離しの自転車来る	山本 左門	大阪府
	秀逸	柚風呂や百数えしは還らざり	田中 荒砂	岡山県
	秀逸	豊年や線路まっすぐ空に入る	兼若 君江	大阪府
	秀逸	昭和からはみだしているくちなわか	朝田 魚生	福岡県
	秀逸	波あまた押し寄せてゐて山眠る	恒藤 滋生	兵庫県
	秀逸	カノープス戦艦大和深く沈み	木村 澄夫	兵庫県
	秀逸	あをによし奈良の都の羽抜鳥	芹沢 保	東京都
	佳作	嫁にきて三和土でこぼこ秋の暮	竹内 孝子	愛知県
	佳作	綱引きの影も綱引く天高し	細野 彩扇	群馬県
	佳作	金魚鉢の金魚に遠き向ふ岸	東條 陽之助	埼玉県
	佳作	置き去りにされた山や囃子の声	溝口 怜子	埼玉県
	佳作	蚯蚓鳴き大団円となりけり	大倉 流花	大阪府
	佳作	一村一品穴に入りたい赤螻	則行 範子	福岡県
	佳作	一人だけ川上にゐる子らの夏	荻原 枯石	栃木県
	佳作	空は子につながっている風の糸	岡村 豊吉	東京都
	佳作	父は喧嘩に征って戻らず彼岸花	たまき みのる	香川県
	佳作	卓上の林檎三個は家族なり	加藤 青女	埼玉県
	佳作	浮き輪から出て来る空気夏の果て	和田 矢須子	兵庫県
	佳作	白き物白く輝き酷暑来る	大浦 丈史朗	大阪府
	佳作	白鳥に乗り湖を一周す	山本 嘉郎	愛知県
	佳作	竹藪の中を自由に黒揚羽	前田 地子	東京都
	佳作	鳥帰る帰るところがあるのですね	鈴木 アヤ子	高知県
	佳作	被爆地のいくばくかを掃く竹箒	酒井 破天	愛知県
	佳作	夕蜩箒箒やつれてしまひけり	松崎 豊子	埼玉県
	佳作	露草や遥かなるものみな碧し	細井 みつ子	東京都
	佳作	喝采のごとく風鳴る木の葉髪	臼井 今朝英	長野県
	佳作	富士新雪わらしべ流れきたりけり	村中 燈子	東京都
	佳作	立たされて見る学校の桜かな	名村 早智子	京都府
	佳作	吊るされて鮫鰐らしくなりにけり	岡島 昭二	東京都
	佳作	父の肌意外に白し草いきれ	山中 勝代	岡山県
	佳作	水番の何か黒ずむものを食ふ	三浦 勲	静岡県
	佳作	蟬穴と身の内の闇つながれる	竹貫 示虹	京都府
	佳作	夕やけ小やけがき大将の影長き	一ノ峰 睡溪	北海道
	佳作	天井に雲の揺り椅子三鬼の忌	坂詰 國子	東京都
	佳作	夏痩せて闇に重たき砂袋	上平 正義	和歌山県
	佳作	こぼろぎの戻ってこない椅子があり	定広 畔	岡山県
	佳作	芋虫や昨日の空を食い残し	望月 一幸	神奈川県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第5回西東三鬼賞	大賞	万緑やうつらうつらと赤子老い	竹村 悦子	高知県
	秀逸	流れゆく蛇のあとから水流れ	酒井 破天	愛知県
	秀逸	鳥雲に戦の他は國を出ず	谷垣 昭一	兵庫県
	秀逸	ふるさとは何もなけれど鯨来る	吉原 吉夫	福岡県
	秀逸	三十階よりパン買ひに行く文化の日	松崎 豊子	埼玉県
	秀逸	蛍火や軍隊といふ動くもの	福見 祐一	岡山県
	秀逸	ちる花の津々浦々に兵の墓	富澤 松雄	長野県
	秀逸	無花果の熟したる夜の秘密かな	今井 乾二	山梨県
	秀逸	永遠に長女の我よ離かざる	渡辺 暁巳	東京都
	秀逸	日本はどこへも行かず春の海	王子 爽太	東京都
	秀逸	廃倉庫のぞけば冬の海なりけり	天野 慶子	東京都
	佳作	ぶるぶると蒔菟玉や村の葬	吉田 さかえ	三重県
	佳作	海に降る雪を見ている竜馬造	須藤 帰雲	群馬県
	佳作	大津絵の鬼を酷使のうちはかな	吉岡 句城	千葉県
	佳作	花火待つもっとも暗き石に坐し	前田 早苗	埼玉県
	佳作	唐辛子真っ赤子育て奮闘記	福本 五都美	愛媛県
	佳作	大根の葉の濡れている水彩画	高村 薫青	岡山県
	佳作	木枯の駅や顔なき人の数	馬場 和子	東京都
	佳作	船傾げ海ごと秋刀魚掬ひけり	岡本 日出男	宮城県
	佳作	いつまでも立たされてゐる葱坊主	名村 早智子	京都府
	佳作	又銃線に初蝶舞い来し日も在りき	判治 泰	三重県
	佳作	十歳の八十歳の秋の暮	西村 勝三郎	秋田県
	佳作	憂国忌モップの棒も考へる	河村 昇	福岡県
	佳作	枯菊の燃ゆるに見入る漢かな	柏崎 春浪	埼玉県
	佳作	虫時雨やむとき闇の入れ替はる	高田 誠司	愛媛県
	佳作	身に入むやもったいないといふ言葉	嶋西 うたた	和歌山県
	佳作	富士桜神代のをみな火をも産む	高橋 智子	千葉県
	佳作	鳳仙花とべかなしみのアジアまで	菊川 俊朗	神奈川県
	佳作	冬海に真向ふ鬼の面つけて	田畑 益弘	京都府
	佳作	とどまれば人は先ゆく雁来紅	田中の小径	東京都
	佳作	大地の気立ちゆくところの鶴の舞	前田 地子	東京都
	佳作	土砂降りのやうなジャズ聴く神の留守	鳥羽 青珠	群馬県
	佳作	春眠のどこかで水の溢れをり	児島 道昌	島根県
	佳作	水着にて鉄砲店の前通る	恒藤 滋生	兵庫県
	佳作	星月夜神のごと機上の人となる	土井田 晩聖	岐阜県
	佳作	夕空を引っ張ってゐる烏瓜	今田 清乃	東京都
	佳作	D51の汽笛青嶺を喜ばす	池田 崇	秋田県
	佳作	みずうみの底で緑の電話鳴る	佐々木 秀昭	京都府
	佳作	黄落や道まっすぐにくらがえり	渡部 怜羅	愛媛県
	佳作	十二月八日の前後不覚かな	庭野 治男	東京都
	佳作	天の河このまま誰も帰るなよ	高橋 修宏	富山県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第6回西東三鬼賞	大賞	窓よりも大きな太陽夏休み	中江 三青	鳥取県
	秀逸	身に覚え無き裸子がついて来る	王子 爽太	東京都
	秀逸	一木を兄とも慕ひ帰省する	鈴木 冲帆	岩手県
	秀逸	こころざし大きく曲がる炎暑かな	田坂 清太	愛媛県
	秀逸	老いてゆくアメリカ兵と油蟬	高橋 修宏	富山県
	秀逸	イブ更けて靴音のみな地下へ墮つ	山崎 観音子	福島県
	秀逸	すこしづつ減ぶ日本桃の花	水上 孤城	長野県
	秀逸	ちぢめても伸ばしても足盆の後	石黒 道子	岡山県
	秀逸	蓑虫の総量を気にしてゐたり	高橋 正夫	埼玉県
	秀逸	密漁の海図なりしを曝しけり	広瀬 長雄	石川県
	佳作	木の葉髪わが父のごと子を許す	黒田 誠一	茨城県
	佳作	ところてん嘗ては牛馬通りけり	吉原 吉夫	福岡県
	佳作	よく晴れてみずうみわたる蝶の耳	谷元 左登	京都府
	佳作	シベリアの寒気五体をいまも責む	定広 畔	岡山県
	佳作	吊り革を握って十三枚の嬰兒	細井 啓司	神奈川県
	佳作	寒卵なんとしてでも起つつもり	鶴田 独狐	福岡県
	佳作	かなかなや袈裟ねんごろに畳まる	谷垣 昭一	兵庫県
	佳作	短日や釈迦も蓮如も足疾し	納谷 ひろ志	秋田県
	佳作	抱え来し重き西瓜が水に浮く	小峰 素子	東京都
	佳作	コミュニストやめたるころの冬帽子	石戸 多賀子	大阪府
	佳作	現世はどのあたりまで雪解風	菅原 嵐翠	秋田県
	佳作	裏声で羽抜鶏呼ぶ媼あり	黒木 輝峰	宮城県
	佳作	青空はまじめで困る石榴の実	寺田 良治	京都府
	佳作	ソビエトのある地球儀の煤払う	河崎 茂元	東京都
	佳作	しんかんと笹の干されて夏休	石川 敏子	群馬県
	佳作	鳥渡る横座に父を飼ひ殺し	最東 峰	栃木県
	佳作	茶の花や二人の違う鍬の音	渡辺 堂匠	静岡県
	佳作	敗戦日神社仏閣数多なり	高田 誠司	愛媛県
	佳作	降りるべき駅のなかりし秋の暮	庭野 治男	東京都
	佳作	かけまくも出雲の国の大融	小田 亨	静岡県
	佳作	富士風射撃訓練音まじる	永田 幸而	山口県
	佳作	赤とんぼ泣かずに籠の中にゐて	刀根 章子	三重県
	佳作	猫の恋盛んや我は電話中	渡辺 暁巳	東京都
	佳作	女の抱く犬に舐められ三鬼の忌	小西 領南	愛媛県
	佳作	新しきピアノ氷の匂いせり	山本 左門	大阪府
	佳作	日本を一度は出たいゐのこづち	喜多 陶子	京都府
	佳作	雪合戦だんだん戦う顔となる	松木 精司	兵庫県
	佳作	砂漠越えて殻象行方不明なり	藤井 浅夫	山口県
	佳作	三輪山に消えゆく蛇の長かりし	柄川 はる茂	岡山県
	佳作	影のあるものに囲まれ良夜かな	坂詰 國子	東京都
	佳作	原爆忌湯水もったいなく使ひ	三村 武子	東京都
	佳作	寝てみればつくしと同じ高さかな	飛永 百合子	東京都
	佳作	広島やだらりと下がる千羽鶴	高村 薫青	岡山県
	佳作	挑発にのりくる鶏頭二、三本	藤本 とみ子	熊本県
	佳作	御嶽の蕎麦の赤臍倒しかな	富澤 松雄	長野県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第7回西東三鬼賞	大賞	くちなわをいじめ尽くせし女学校	高橋 修宏	富山県
	秀逸	冷蔵庫開けて一人と思ひけり	米倉 ひさき	東京都
	秀逸	木枯やひとりであうたう応援歌	谷元 左登	京都府
	秀逸	名画座に「望郷」かかる西東忌	宋 岳人	栃木県
	秀逸	水に浮く日本國と蓮の花	竹村 悦子	高知県
	秀逸	新米の溢るる倉庫恐れをり	池田 郷太郎	秋田県
	秀逸	昭和史の永久に二つの原爆忌	永山 篁	福岡県
	秀逸	群がりて月下に鯉のきしむ音	高橋 智子	大阪府
	秀逸	音楽がからだを流れおり良夜	細井 啓司	神奈川県
	秀逸	マンションが砂に還るや葉鶏頭	田代 蒼猫	新潟県
	秀逸	さふらの花マルセーユ遥かなり	永野 史代	神奈川県
	佳作	夜濯や初めて船に乗りし頃	岡本 日出男	宮城県
	佳作	満月の暈の下は新聞紙	村瀬 誠道	愛知県
	佳作	葡萄大粒中は海なり夜空なり	田中の小径	岐阜県
	佳作	飛ぶことを諦めて水打ちにけり	鈴木 沖帆	岩手県
	佳作	晩秋の家いっぱい家族かな	菊川 俊朗	神奈川県
	佳作	冬木立ただひたすらに走る人	酒谷 博之	宮城県
	佳作	冬の海見ており何も見てはおらぬ	成田 輝子	香川県
	佳作	土砂降りへ祭太鼓を打ち込めり	平峯 敏巳	東京都
	佳作	長き夜のみな左向く凶鑑の魚	倉本 勉	兵庫県
	佳作	大きなこと考へてゐる墓	名村 早智子	京都府
	佳作	体内に半島があり年を越す	武藤 鉦二	秋田県
	佳作	戦友は水虫のみとなりけり	小笠原 風箕	宮城県
	佳作	先をゆく人の捨てたる木の実かな	溝口 怜子	埼玉県
	佳作	初夢や人を殺めし手の温み	藤林 正則	北海道
	佳作	手のひらを広げてごらん虹がある	伊豆野 智子	岡山県
	佳作	向日葵に隠れて父ら征きにけり	相 上生	香川県
	佳作	原爆図から足音が蹤いてくる	西場 栄光	静岡県
	佳作	兄眠る太平洋を泳ぎけり	瀬上 志摩	岐阜県
	佳作	銀漢を越ゆる列車に眠りをり	広谷 一風亭	兵庫県
	佳作	金魚透く壺のあちらにはみだして	米本 竹馬	岡山県
	佳作	甘蔗一尺一銭にて噛みし	木村 柳水	岡山県
	佳作	柿食べて日本のこと父のこと	斎藤 花夫	秋田県
	佳作	下校児のーっこパン買ふ秋の暮	麻生 勝行	長崎県
	佳作	わたくしの居ない鏡に百日紅	阪野 美智子	大阪府
	佳作	モジリアニの絵より抜け来し寄居虫売り	木本 晴夫	大阪府
	佳作	ぼろぼろの地を這ふ長崎揚羽かな	糸山 芳則	佐賀県
	佳作	ねんごろにあり泥葱と泥大根	今田 清乃	東京都
	佳作	どこからか産声のして広島忌	前田 地子	東京都
	佳作	うるうると背中あふれて駅にいる	徳永 政二	滋賀県
	佳作	いくたびも電球灯り切れて冬	高橋 修宏	富山県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第8回西東三鬼賞	大賞	海津見に沈みし菊や菊日和	岡本 日出男	宮城県
	秀逸	春の家一生出られぬかも知れぬ	高橋 修宏	富山県
	秀逸	汗噴くに任せる加齢今日もカレー	水島 洋一	大阪府
	秀逸	前世は大物なりし蟾蜍	角南 昧波	岡山県
	秀逸	結界に天の裂けめの石榴かな	岡 典子	大阪府
	秀逸	青春の蒲団の湿り遠花火	太田 里子	東京都
	秀逸	八月の朝礼台に誰もゐず	小野 幸鼓	東京都
	秀逸	十七歳教師を刺して夏終る	山川 正典	愛知県
	秀逸	水害による水不足天の川	三村 武子	東京都
	秀逸	鶏頭の種のびっしり疲労感	西屋富美子	山口県
	秀逸	夜汽車より淋しかりけり洗ひ髪	田中の小径	岐阜県
	佳作	猫の恋見てゐて父に撲たれたる	金子 彩	神奈川県
	佳作	馬跳びのかはりばんこに冬に入る	芳賀 秋良	神奈川県
	佳作	永き日の壊れた人の行方かな	沼田 昇	東京都
	佳作	猪一頭仕留めし髭を当りけり	岡田 貞二	神奈川県
	佳作	草に臥て飢えし孔子を想ひけり	大本 春夫	大阪府
	佳作	親父の柩西瓜南瓜を跨いで行けり	吉田 さかえ	三重県
	佳作	しんかんと顔剃られをり原爆忌	阿川 道代	東京都
	佳作	干大根縮む力の充ちて来し	柄川 はる茂	岡山県
	佳作	草いきれ眼の農婦立ち上がる	外崎 花牛	茨城県
	佳作	案山子抜く自由になりし杭の穴	河野 則子	大分県
	佳作	天高し突き上げる腕つけ根あり	小笠原 風箕	宮城県
	佳作	しんかんと少年の居る夏の蔵	松崎 豊子	埼玉県
	佳作	十二月八日はやばや消燈す	不破 元之	富山県
	佳作	川鮭やひと雨ごとに山瘦て	三好 しげみ	青森県
	佳作	花のあと敵と味方に分かれけり	大杉 衛	京都府
	佳作	鯨観て今日の太陽終りけり	篠原 飄	埼玉県
	佳作	秋の陽の点滴に入りわれに入る	松永 東興	埼玉県
	佳作	極寒の血を立たしめて馬眠る	服部 圭伺	島根県
	佳作	水涸るる村の天体望遠鏡	高橋 とも子	千葉県
	佳作	春寒の直立歩行の背骨かな	坂詰 國子	東京都
	佳作	めだかの子数える度にちがう数	塚本 回子	東京都
	佳作	石頭たのもし月をあびにけり	赤司 六哉	福岡県
	佳作	買はざりし秋刀魚の吻のさびしさに	鈴木 アヤ子	高知県
	佳作	動く物陸には多し秋の航	太田 よを子	兵庫県
	佳作	太陽はいつも遠くに黄落期	名村 早智子	京都府
	佳作	元旦や瑞穂の国の味噌醤油	臼井 千百	北海道
	佳作	冬の山天狗の面の落ちてをり	三沢 智信	栃木県
	佳作	生きてゆけるほどの不幸や赤とんぼ	竹村 悦子	高知県
	佳作	千葉県へ盆僧ひとり渡しけり	王子 爽太	東京都
	佳作	洪水後いずこへ帰る油蟲	高橋 修宏	富山県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第9回西東三鬼賞	大賞	天の川隣人とくに恐ろしき	阪野 美智子	京都府
	秀逸	雲海の中の乱声八月六日	柴田 美代子	埼玉県
	秀逸	去年今年なく点滴の入りけり	亀山 賢治	岡山県
	秀逸	月夜茸ははを殺めにきたと言う	親谷 道子	北海道
	秀逸	括られし蛇の袋の立ち上がる	山村 美恵子	福岡県
	秀逸	三鬼忌やきれいに残る魚の骨	山本 左門	大阪府
	秀逸	あと一人吊せば終る秋の空	貞永 まこと	大分県
	秀逸	置き杖の納まる大江山眠る	松岡 恵美子	京都府
	秀逸	芭蕉忌の押させてもらふ車椅子	津高 里永子	東京都
	秀逸	寝返りて消息を絶つ天の河	高橋 修宏	富山県
	秀逸	帰還するまで開けておく蟬の穴	池田 守一	福岡県
	佳作	少しづつ沈む列島かき氷	伊藤 武月	宮城県
	佳作	書架の中一書逆さに啄木忌	平尾 徹美	大阪府
	佳作	涅槃図の裏側で待ち涼しけれ	土田 雅彦	大分県
	佳作	書を曝すたびに人間失格す	西場 栄光	静岡県
	佳作	嬉々としてげんげ田這ふや捨てたる子	山中 勝代	兵庫県
	佳作	石投げて家の深さをはかる秋	油津 雨休	大阪府
	佳作	語ふかす海のむこうが騒々しい	西屋 富美子	山口県
	佳作	戦死者に晩年はなし木の葉髪	菅野 旨子	京都府
	佳作	どんぐりの甲乙丙丁マリアさま	長野 君代	北海道
	佳作	木場は木を寝かせて匂う夏つばめ	多田 武峰	神奈川県
	佳作	左手も右手も寒きなか帰る	阪野 美智子	京都府
	佳作	凍蝶を絵本のなかに匿ひし	山村 美恵子	福岡県
	佳作	目刺食べきのふもたべて痩せてゆく	関根 通紀	宮城県
	佳作	十二月隣りの部屋の時計鳴る	川上 弘子	大阪府
	佳作	水馬また始めから考へる	高村 薫青	岡山県
	佳作	ほんたうのことは毛布に語りけり	布施 良	島根県
	佳作	鷹化して鳩や孫つれクラス会	高橋 節子	東京都
	佳作	天気図に増えるたて縞鳥渡る	右手 采遊	岡山県
	佳作	寒林の中の一樹となりて待つ	川端 健一	山口県
	佳作	十六夜の頭の影を踏む遊び	野田 遊三	熊本県
	佳作	大根を煮て約束を増やしおり	石井 久子	大阪府
	佳作	戦災も震災も経て秋刀魚焼く	恒藤 滋生	兵庫県
	佳作	靴ぬいで靴下ぬぎし桜かな	加藤 静夫	東京都
	佳作	幸せの時に買いたる日傘さす	渡辺 暁巳	東京都
	佳作	小説のはじめに戻り昼寝覚	谷元 左登	京都府
	佳作	冬山へ切株のこし帰りけり	兼若 君江	大阪府
	佳作	白百合がすつくと立ちて帰りけり	木村 澄夫	兵庫県
	佳作	こんなにきれいな冬空があり戦争す	竹村 悦子	高知県
	佳作	月光の及ぶところに手術台	高橋 修宏	富山県
	佳作	月光や伏せておかるる神獣鏡	永禮 能孚	岡山県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第10回西東三鬼賞	大賞	銀河系の一点に坐し語を食ふ	横田 昭子	大阪府
	秀逸	銀河大衝突向日葵かすかにゆれ	日原 正彦	愛知県
	秀逸	漱石を親爺のやうに鳥わたる	不破 浩	埼玉県
	秀逸	小六月しずしずと来る戦闘機	河野 けいこ	愛媛県
	秀逸	十二月八日杖にて起ち上がる	梅原 昭男	茨城県
	秀逸	数え日や机の上の紙の銭	原 初美	大阪府
	秀逸	倒立の少年ひとり春の家	中村 文園	大阪府
	秀逸	十聞いて十を忘るる日向ぼこ	小池 成功	千葉県
	秀逸	母に鈴つけたくなりぬ草の花	曾根 治子	京都府
	秀逸	悪童ら入道雲を連れ歩く	永禮 宣子	岡山県
	秀逸	萍のたどりつきたる昭和以後	高橋 修宏	富山県
	佳作	麦秋やホームにあまる汽車止まる	井堀 春潮	福岡県
	佳作	扇風機あちこち媚びて疲れけり	村上 葉子	静岡県
	佳作	攻め焚きの後の窯鳴き秋惜しむ	掛川 亘	大分県
	佳作	宇宙とはこの深き碧やんまゆく	吉岡 草葉子	愛媛県
	佳作	真夜中に寝返り打ちし寝釈迦かな	鈴木 三光子	東京都
	佳作	懸命に生きて余りし天瓜粉	西脇 輔人	愛知県
	佳作	人体の水を平に菊日和	片山 慶子	愛知県
	佳作	雨嫌ひ学校きらひ麦の笛	最東 峰	栃木県
	佳作	廃校の長き廊下や蜻蛉ゆく	矢尾 米一	奈良県
	佳作	朧夜に死ねない明日の米を研ぐ	金尾 一志	岡山県
	佳作	半分は地球真つ暗日の盛り	河合 城太	静岡県
	佳作	炎天や忘れ上手の人となる	山崎 奈津菜	山口県
	佳作	百里来て桔梗の部屋で貰かる	福井 敬行	静岡県
	佳作	鴨の群飛び立つ空の重さかな	奥西 健次郎	岡山県
	佳作	複製のわれが行き過ぐ秋の暮	吉瀬 博	東京都
	佳作	初雪の色を写して刃物研ぐ	大塚 珀蛾	北海道
	佳作	水温む底に修業時代あり	菅野 麻子	京都府
	佳作	滝となる水は助走にはひりけり	大坂 螢火	秋田県
	佳作	満月の屍衛兵として立てり	田中 義一	千葉県
	佳作	「ゲルニカ」に防弾硝子軋む夏	花谷 清	京都府
	佳作	力にも重さがあて万緑す	たまき みのる	香川県
	佳作	十一桁番号のわれ山眠る	齋藤 俊子	東京都
	佳作	焼かれゆくものの声して野火走る	安部 真理子	山口県
	佳作	残像と大衝突の花火かな	次井 義泰	大阪府
	佳作	新豆腐にんげんにまだ時間あり	竹本 チエ子	山口県
	佳作	本当の空が来ている冬木立	小賀 幸一	岡山県
	佳作	七夕やまぬかれ難く地球にゐ	小澤 房子	東京都
	佳作	月明に冬木をのぼる水清し	茂木 義夫	群馬県
	佳作	冬の月四捨五入せし四を思ふ	竹貫 示虹	京都府
	佳作	誰もみぬ海を見に行く帰省かな	太田 里子	東京都

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第11回西東三鬼賞	大賞	プラトンの国を目指せり蟻の道	次井 義泰	大阪府
	秀逸	鮫鰐のうつらうつらと捌かるる	山村 美恵子	福岡県
	秀逸	たくさんの声が聞こえて来る八月	篠崎 す枝	茨城県
	秀逸	羽抜鶏ついてゆくのも羽抜鶏	山本 賜	東京都
	秀逸	夏木立ことばは一つの出口である	赤司 六哉	福岡県
	秀逸	鶴二百三百五百戦争へ	菊川 俊朗	神奈川県
	秀逸	隠れん坊してゐて九月ずっと鬼	曾根 毅	奈良県
	秀逸	動かざるとき梟は発条を巻く	瀬尾 冬樹	北海道
	秀逸	桐一葉思ふ処に落ちぬもの	平尾 徹美	大阪府
	秀逸	創造の原点におく八つ頭	森 壽賀子	埼玉県
	秀逸	夕桜ここより家族はじまりぬ	高橋 修宏	富山県
	佳作	神馬とて何処えも行けず神の留守	多田 武峰	神奈川県
	佳作	日向ぼこ三鬼の老婆けふ二人	長岡 貝郎	東京都
	佳作	諍ひの外におるなり蠅叩	土田 雅彦	大分県
	佳作	良き眠り欲しくて蛇を飼ひはじむ	水口 圭子	栃木県
	佳作	柿すだれ中の人間よく見える	山岸 秋光	神奈川県
	佳作	重力と仲良くなりて大根引く	下斗米一仙	青森県
	佳作	山眠るふつと活断層のこと	田畑 益弘	京都府
	佳作	存在の時を余さず鶴帰る	曾根 毅	奈良県
	佳作	宇宙にはひづみあるらし隙間風	中島 さやか	神奈川県
	佳作	十二月ポストわづかに傾きて	松森 佳子	東京都
	佳作	日脚伸ぶ象の先ゆく象の鼻	竹村 甲子雄	愛知県
	佳作	涅槃図の天地を支ふ釘一本	矢部 道男	鳥取県
	佳作	道に出て正午を待ちぬ終戦忌	今井 豊	兵庫県
	佳作	大石田駅長室にわれもこう	加藤 青女	埼玉県
	佳作	初水虚実皮膜の行き戻り	川崎 益太郎	広島県
	佳作	天空のさらなる高み鳥渡る	谷川 すみれ	大阪府
	佳作	引力の混沌として雪蛭	山田 浩子	京都府
	佳作	宙吊りの地球に刺さる大根引く	三浦 豊	神奈川県
	佳作	木枯や水飲むものは生きている	大高 ます美	埼玉県
	佳作	枯野より電気コードの伸びてゆき	大杉 衛	京都府
	佳作	オートバイ海岸線の夏傾ぐ	吉竹 純	東京都
	佳作	鶏頭の群がつてゐる暗さかな	三浦 正司	神奈川県
	佳作	万緑や星の生まれる予感せり	渡辺 暁巳	東京都
	佳作	受難節肉屋の鉤のひとつ空く	山本 左門	大阪府
	佳作	菜の花や勝手に走る影法師	門脇 かずお	鳥取県
	佳作	五月病大きな靴を脱ぎ捨てる	赤尾 富美子	岡山県
	佳作	蟻地獄見て約束をふやしけり	高橋 修宏	富山県
	佳作	来る人に浮力生れる蛍の夜	永禮 宣子	岡山県
	佳作	白鳥の一羽が白を越えてゐる	永野 史代	神奈川県
	佳作	寒卵海鳴る夜の函に満つ	日下部 遼太	東京都

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第12回西東三鬼賞	大賞	頭の中に無数の定義木の実落つ	今井 豊	兵庫県
	秀逸	かき氷くずす角度を探しおり	鳥羽 朝子	群馬県
	秀逸	生命とは時間体験茨の実	小俣 英之助	大阪府
	秀逸	セーターを着てやはらかになるからだ	竹貫 示虹	京都府
	秀逸	名月の引力茄子の尻を曲げ	柄川 はる茂	岡山県
	秀逸	元日や畳の國にゐて閑か	坂詰 國子	東京都
	秀逸	直前に最も乱れ独楽止まる	花谷 清	京都府
	秀逸	雪合戦だんだんと腹立ってくる	鈴木 アヤ子	高知県
	秀逸	呼ばれたる貌で近づく冬の鹿	大西 静城	香川県
	秀逸	パリ - まで行きしこの靴文化の日	須江 容峰	岡山県
	秀逸	赤ん坊星の言葉を発しけり	篠原 飄	埼玉県
	佳作	莊周の鯢の養殖天の川	レコンキスタ	福岡県
	佳作	銀河より泳ぎ着いたる水澄まし	小川 佳泉	岡山県
	佳作	松過ぎやていねいに家壊さるる	三井 孝子	兵庫県
	佳作	月へ行く径かも知れず竹落葉	谷 弥住子	和歌山県
	佳作	答えみな違っていたり茄子の馬	芝根 南	群馬県
	佳作	冬眠の蛇メビウスの環となりて	山本 啓介	神奈川県
	佳作	しんがりの蟻が甲辞を持っている	朝田 魚生	福岡県
	佳作	馴染みたる古靴でよし西東忌	松本 隆吉	福岡県
	佳作	山深し片目つむればなお深し	上田 桐子	広島県
	佳作	秋風やみんなどこかへ行く途中	河合 城太	静岡県
	佳作	干蛸に午後の風きて見つめあう	あべ まさる	大分県
	佳作	木枯のあと付いて来る人の無し	竹内 のぼる	岡山県
	佳作	夜こめて渡るみちあり雁の空	細野 三千夫	千葉県
	佳作	椿落つ誰れも怒らず誰れも踏まず	竹村 甲子雄	愛知県
	佳作	太古より神は沈黙冬銀河	石川 暁子	神奈川県
	佳作	羽抜鶏呼ばれたように向きを変え	三浦 正司	神奈川県
	佳作	椿から椿に移る空気かな	植原 安治	千葉県
	佳作	蛇穴を出て真っ直ぐな子に育つ	馬場 弘光	栃木県
	佳作	卵立てて春の足音聞きにけり	志村 美好	埼玉県
	佳作	遠雷や不安なるものかたち無き	佐々木 花茨	岡山県
	佳作	地球儀の中は空洞地虫鳴く	宮西 照雄	福島県
	佳作	夕焼の手前の門はずされる	大杉 衛	京都府
	佳作	塩壺に塩のかたまりクリスマス	瀬川 紅司	東京都
	佳作	鉄橋に耳当てつづけ麦の秋	高橋 修宏	富山県
	佳作	浮く力ためているなり寒椿	野田 遊三	熊本県
	佳作	秋耕や等高線を刻み込む	小賀 幸一	岡山県
	佳作	しばらくは家の容で家流る	須田 義昭	岡山県
	佳作	歩くことは息をすること秋日和	高村 令子	岡山県
	佳作	国境は海底にあり鳥渡る	渡辺 暁巳	東京都
	佳作	溜息も入れてしまひし石鯛玉	尾形 敏幸	神奈川県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第13回西東三鬼賞	大賞	吾と言う構造物に春一番	秋山 青松	鹿児島県
	秀逸	陽炎の中の自転車壊れをり	山村 美恵子	福岡県
	秀逸	夏の夜の子規に見せたき宇宙船	滝田 芳順	神奈川県
	秀逸	存在と時間と麦の黒穂かな	関 悦史	茨城県
	秀逸	凜然と死が見えている諸葛菜	澤井 益市郎	千葉県
	秀逸	枯蓮の沈むほかなし刻の中	右手 采遊	岡山県
	秀逸	人からも水の香たちし春の月	永野 佐和	福岡県
	秀逸	定型は死ぬることなり桃の花	村瀬 誠道	愛知県
	秀逸	臥せば家具断崖なせり三鬼の忌	土田 晶子	福岡県
	秀逸	万年床周りに置きし雪だるま	豊原 清明	兵庫県
	佳作	点に面線に幅無し雲は行く	雪心庵 青柳鬼	長野県
	佳作	手が触れていて空を明るいと思う	普川 洋	千葉県
	佳作	水打って子の恋人を待ちにけり	多田 武峰	神奈川県
	佳作	蝉の穴覗けば地球歪みおり	片山 慶子	愛知県
	佳作	鳥交るアリストテレスは何してる	堀 信一郎	大阪府
	佳作	鳩が出るはずの写真機卒業す	谷 廣子	愛媛県
	佳作	上流に銀河を使う発電機	河西 俊一郎	神奈川県
	佳作	八月や蛇口を撫でて水を出す	志村 美好	埼玉県
	佳作	八月の赤子を黒く抱くをんな	益子 聰	埼玉県
	佳作	切れながらつながる時間雖飾る	由田 欣一	神奈川県
	佳作	知らぬ世を口伝でひとり手毬唄	亀山 賢治	岡山県
	佳作	右翼より左翼の涼し草野球	安田 茂	北海道
	佳作	宙に出て軌道に乗りししゃぼん玉	松原 英明	広島県
	佳作	満水の無人のプール原爆忌	中西 勲	福井県
	佳作	かなかなかな文字がほどけて線になる	赤司 六哉	福岡県
	佳作	きっかけは初めの一羽鳥渡る	曾根 毅	香川県
	佳作	夏の海考えている人僅か	佐藤 昭	東京都
	佳作	貌のなき人と行き交う紅葉の夜	持永 ひろし	福岡県
	佳作	本当にあつた戦争茄子の花	神田 登美子	東京都
	佳作	伐られたる角をあるかに身構えり	中川 きよし	奈良県
	佳作	口承のごと八月の蝉は鳴く	須田 義昭	岡山県
	佳作	渋滞の列のしあわせ敗戦忌	南 勝	奈良県
	佳作	黄落や剃刀を研ぐ革砥垂る	大橋 幸子	東京都
	佳作	永遠は近くて遠き栗の花	今井 豊	兵庫県
	佳作	空中を飛ぶ赤?と野球帽	内倉 元	埼玉県
	佳作	冬木立隙間だらけの空翔ぶ鳥	小賀 幸一	岡山県
	佳作	浮人形ひだりの黒目ずれてゐし	片男波 なをたか	石川県
	佳作	この世にはこの世あるのみ朴の花	加藤 静夫	東京都
	佳作	蛇を捲く棒より山河はじまりぬ	高橋 修宏	富山県
	佳作	メタセコイア低く伐られし松手入	谷元 左登	京都府

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第14回西東三鬼賞	大賞	脳と言う宇宙の終わり麦の秋	柏木 晃	埼玉県
	秀逸	一杯のソーダ水の別世界	滝田 芳順	神奈川
	秀逸	吊り皮のどれも手のある原爆忌	曽根 新五郎	東京都
	秀逸	リンゴ剥く地球の水を感じつつ	竹本 チエ子	山口県
	秀逸	仏教が登らぬ山を登りけり	竹取 建二	群馬県
	秀逸	乳と蜜流るカナン鳥渡る	町田 紘治	長崎県
	秀逸	ボクたちの非核の国の秋の暮	山中 正巳	東京都
	秀逸	うつ伏せの男と女夏の潮	河野 けいこ	愛媛県
	秀逸	流星や質量いずこに残る	佐々木 花茨	岡山県
	秀逸	方舟に帰ることなき草の絮	高橋 修宏	富山県
	秀逸	水を買うくらしになれて三鬼の忌	宮澤 雅子	東京都
	佳作	逃げ水の一本道を郵便夫	山村 美恵子	福岡県
	佳作	一本の道まっすぐの不確かさ	佐藤 昭	東京都
	佳作	生徒会日焼けの少女君臨す	田上 昭夫	福岡県
	佳作	銀漢の端に下ろせし旅袍	大西 素之	愛媛県
	佳作	秋最中唯我独尊我余生	樋口 嘉一	大阪府
	佳作	震度五の時生き生きと蜜柑山	河西 俊一郎	神奈川県
	佳作	寒林の全裸の中を通りけり	篠原 飄	埼玉県
	佳作	時間など無かった頃のお月さま	田中の小径	愛知県
	佳作	行く方の瀑布を知らぬ大河かな	東出 泰二郎	東京都
	佳作	まれにひとり兎小屋から出家する	植原 安治	千葉県
	佳作	盗まれた傘は誰かを守りいる	才田 涼	東京都
	佳作	骨節の自在に動き蓮根掘る	柄川 学璋	岡山県
	佳作	秋冷のにんげん昨日を忘れている	あべ まさる	大分県
	佳作	夫のせて断崖絶壁車椅子	旭 千代	千葉県
	佳作	秋光の奥また奥を万華鏡	加瀬 光雄	千葉県
	佳作	雀蛤に魚雷となりし少年も	田代 草猫	新潟県
	佳作	もうひとつ宇宙あるかも胡桃割る	早瀬 山椒魚	兵庫県
	佳作	大寒の掬じれ乾きの雑巾よ	小林 游	岡山県
	佳作	泣きながら人に生まれる桃の花	高村 薫青	岡山県
	佳作	虫籠に入り学名で呼ばれたる	花谷 清	京都府
	佳作	2掛ける2は4を跳び越ゆる秋の空	臼井 東生	神奈川県
	佳作	三鬼忌や背後にエレベーター開く	山本 左門	大阪府
	佳作	久美子の名打込めば即鵬の贅	高木 千住	東京都
	佳作	太陽に時空の傷や水すまし	村上 衛	埼玉県
	佳作	次の次の次の天皇水澄めり	加藤 静夫	東京都
	佳作	空蝉やアメリカに生れアメリカ兵	永禮 宣子	岡山県
	佳作	浮いて来い一億三〇〇〇万の島	佐藤 成之	宮城県
	佳作	透明な内燃機関しゃぼん玉	石藤 浩一	千葉県
	佳作	何事もなかったやうに一面の雪	福本 真理	兵庫県
	佳作	一斉に衣更えして怖しき	福本 杳	茨城県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第15回西東三鬼賞	大賞	曲りたる時間の外へ蝸牛	花谷 清	京都府
	秀逸	開かぬ眼も黙禱をする原爆忌	三浦 豊	神奈川県
	秀逸	どの影もふまず八月十五日	曽根 新五郎	東京都
	秀逸	遠泳の水引き摺つてあがりけり	山村 美恵子	福岡県
	秀逸	落合ひしふたつの時間雪解川	妹尾 武志	岡山県
	秀逸	地球上の全戦場の夏の雨	吉村 丈夫	千葉県
	秀逸	今といふ今已に無し木の実落つ	高村 薫青	岡山県
	秀逸	水に浮く脳と浮輪と日本かな	大久保 昇	東京都
	秀逸	月までの旅はさみしき夜の雁	浅井 慎平	東京都
	秀逸	神話より民話恐ろし神無月	宇井 久	大阪府
	秀逸	脳のこと考ふる脳冷ゆるなり	田畑 益弘	京都府
	佳作	蜜月の蜜をあつめて冬ごもり	金谷 晴美	秋田県
	佳作	なにほどの証のあらむ春の水	黒山 敏恵	神奈川県
	佳作	不確かな光を浴びて芹を摘む	柏木 晃	埼玉県
	佳作	シャボン玉海馬しきりに膨張す	島 杜桃	栃木県
	佳作	デユシヤンのモナリサに髭春愁	稲垣 長	愛知県
	佳作	頭の中の無数すう式松の花	滝田 芳順	神奈川県
	佳作	飯食うて我は汗かく有機物	天地 わたる	東京都
	佳作	太陽の甘み柿より貰ひけり	森田 なみを	群馬県
	佳作	点と線光る炎昼を石切場	柄川 学璋	岡山県
	佳作	臍たけし蛇ならむ蛇の衣	坂詰 國子	東京都
	佳作	木に登り月の言葉を吐く少女	磯辺 正悟	鹿児島県
	佳作	生きること死ぬこと春に笑うこと	折勝 家鴨	神奈川県
	佳作	三鬼忌のステッキ石に鳴りにけり	矢部 道男	鳥取県
	佳作	梅若忌水上バスの遠ざかる	角南 味波	東京都
	佳作	炎昼や道に止まれの横の線	佐々木 花茨	岡山県
	佳作	夏の月征きし君らは訃を知らず	永野 佐和	福岡県
	佳作	朱残る阿像の眉間雲は夏	福島 毅	岡山県
	佳作	始祖鳥を飼いたし猛き夜の熱	山崎 泊	東京都
	佳作	炎天の空の一部や観覧車	大谷 糸つ子	東京都
	佳作	女の子描く女の子夏休み	柳 青郷	青森県
	佳作	我が顔を映せし氷柱折り取りぬ	山本 左門	大阪府
	佳作	新緑に入る肉体をしづかにし	羽田野 令	京都府
	佳作	鯨として回転せねばならぬかな	加藤 静夫	東京都
	佳作	いのち歩く負の空間を野分とし	篠原 飄	埼玉県
	佳作	ヒロシマのあの日の川の浮いてこい	岡口 冬甫	福岡県
	佳作	クレパスの青ばかり減る敗戦忌	有馬 英子	東京都
	佳作	海面の上がる未来と島の春	福田 知子	東京都
	佳作	ゆくべきかとどまるべきか冬の川	小林 直岑	岡山県
	佳作	短日の物として壺のなかにあり	小林 游	岡山県
	佳作	蝦蟇鳴くや冥王星を慕ひ出て	永禮 宣子	岡山県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第16回西東三鬼賞	大賞	ガソリンの臭いの中の立葵	谷川 すみれ	大阪府
	秀逸	一命にほど遠きもの寒昂	田中 義一	千葉県
	秀逸	鯨が跳ねて海がへこみし沖縄忌	竹村 甲子雄	愛知県
	秀逸	流星やゼロに近づく数へ方	和田 仁良	秋田県
	秀逸	野うさぎが僧に耳打ち春高野	加藤 好子	埼玉県
	秀逸	奔流の端は忘却柳の芽	小林 游	岡山県
	秀逸	先頭の入替わりつつ鳥渡る	中川 清志	奈良県
	秀逸	尿ばかり熱き老年冬銀河	永禮 宣子	岡山県
	秀逸	秋の蚊やラスコリーニコフの脹脛	小谷 正和	愛媛県
	秀逸	永遠は後に伸びて三鬼の忌	田村 久美子	大阪府
	秀逸	太陽と一対一の日向ぼこ	畑 耕三郎	北海道
	佳作	生国に形而下学の蟻の国	菊池 俊	青森県
	佳作	四次元の花屋さんよりチューリップ	滝田 芳順	神奈川県
	佳作	わたくしにわたくしの影広島忌	吉村 丈夫	千葉県
	佳作	白牡丹闇にもありし光りかな	石川 明	秋田県
	佳作	涅槃図の温顔のまま巻かれけり	松本 久	宮城県
	佳作	中年と老年の差や虫の声	中村 恭宗	茨城県
	佳作	陽炎を抜けて時間の壁を越ゆ	手塚 美喜夫	栃木県
	佳作	男にも愁ひのありて鰯の斑	澤本 三乗	静岡県
	佳作	咲き満ちて枯れて見らるる薄かな	鈴木 成夫	埼玉県
	佳作	風や吾ら戦争遺児育つ	上野 昭子	山口県
	佳作	星飛んで今が戦前かも知れず	池田 崇	秋田県
	佳作	居待月母より先に長女老ゆ	関根 通紀	宮城県
	佳作	海鼠噛む残り少なき昭和の齒	曾根 新五郎	東京都
	佳作	花野ゆく歩むところを径として	角南 公一	東京都
	佳作	薪水に母の百年鳥渡る	大西 静城	香川県
	佳作	ゆく先を銀河と決めて箱に入る	篠原 昭	埼玉県
	佳作	銀河濃し臘梅思考続けある	柄川 治茂	岡山県
	佳作	人類の後の人体模型かな	矢部 道男	鳥取県
	佳作	西日射すピアノが鳴っていた場所に	大杉 衛	京都府
	佳作	火は柱水も柱や十二月	小田島 亮悦	東京都
	佳作	老人同志厄介がって葛湯吹く	玉木 稔	香川県
	佳作	あるときは鳥の眼となり大枯野	右手 采遊	岡山県
	佳作	テレビ局の神棚十月終りけり	瀬川 浩司	東京都
	佳作	冬の川しづかに冬の水位あり	菊川 俊朗	神奈川県
	佳作	星が飛ぶ地球も飛んであるのかも	大久保 昇	東京都
	佳作	炎昼の墜とす光りに重さあり	星川 正道	岡山県
	佳作	月面に呼ぶは水売酸素売	安藤 辰彦	神奈川県
	佳作	皆ナイトオルゾ貴様のアノラック	竹内 宗一郎	大阪府
	佳作	冬ざれや自転にさらす白骨都市	杉野 秋耕死	北海道
	佳作	春の潮少しづつ寄るわたしたち	福本 マナ	茨城県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第17回西東三鬼賞	大賞	惑星間会議ひまはり選出す	安藤 辰彦	神奈川県
	秀逸	空壘の中へも春の波とどく	吉村 丈夫	千葉県
	秀逸	たんぼばや年号変る度戦争	山田 浅夫	兵庫県
	秀逸	決断は省略に似てサングラス	前田 清子	東京都
	秀逸	月光写真母だけが写っておらぬ	石川 暘子	神奈川県
	秀逸	月光の溜まりし盥はこばねば	矢野 孝久	長野県
	秀逸	南極を上にした地図大旦	新居 三和	徳島県
	秀逸	サイネリアまひるの母を睡らしむ	石井 冴	大阪府
	秀逸	西東忌浪が平伏して寄する	不破 元之	富山県
	秀逸	のどかなり時々目覚め石風車	福島 毅	岡山県
	秀逸	対岸は隣の市民春がすみ	松岡 耕作	福岡県
	佳作	あり余る時間のなかの麦の秋	横山 冬都	千葉県
	佳作	天辺に残るざくろの鼓動かな	曽根 新五郎	東京都
	佳作	薄氷羽毛をのせて軋みけり	中村 孝哲	東京都
	佳作	また人に生まれし人の天の川	和田 仁良	秋田県
	佳作	牛小屋の桃子のよだれ青芒	横井 博行	神奈川県
	佳作	SUNKISTの青き印字やレモン切る	佐々木 健成	埼玉県
	佳作	癌に寝てまた我が夫となりにけり	鈴木 けいじ	山梨県
	佳作	うつぶせに寝ればアジアの息吹きかな	大西 政司	愛媛県
	佳作	人生は流れ解散去年今年	由田 欣一	神奈川県
	佳作	俳諧が筆りつづける羽抜け鳥	ほその みちを	千葉県
	佳作	白鳥を見つめ或る日の放浪者	河久保 喜秋	神奈川県
	佳作	ひっそりと老人生まれ村の夏	永松 東興	埼玉県
	佳作	筋肉の荒ぶ北海鮭を撲つ	吉村 勇	神奈川県
	佳作	雪結晶まひるの夢を核におき	花谷 清	京都府
	佳作	桐一葉三角形に突き当る	高野 公一	東京都
	佳作	白靴や蝶に行く先聞いてから	高村 薫青	岡山県
	佳作	なきがらの口の中に綿冬燈	廣 波青	三重県
	佳作	シェルターのやうな地下鉄レノンの忌	山中 正己	東京都
	佳作	枯野へと二足歩行のひとりかな	大杉 衛	京都府
	佳作	炎昼や身体はどこで考へる	山崎 加津子	埼玉県
	佳作	去年今年角の変わらぬコンペイトー	西田 唯士	大阪府
	佳作	神の旅朝のスープに始まれり	右手 采遊	岡山県
	佳作	天使にもうぶ毛あるらむ桃の夜	松下 カロ	神奈川県
	佳作	奔馬性結核とある桜の夜	梶 等太郎	東京都
	佳作	父の日の父に抱く子を渡す父	日比野 正治	東京都
	佳作	マーガレット正論吐いて咲きにけり	澤田 睦子	神奈川県
	佳作	秋の陽や道具尖りしものばかり	淵上 信子	東京都
	佳作	人世とは一次元なり系を引く	中城 俊昭	埼玉県
	佳作	山ひとつ向こうは神在月という	藤川 游子	埼玉県
	佳作	極月や耳と耳とがすれちがう	古川 美恵子	岡山県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第18回西東三鬼賞	大賞	十二月みんなが通る自動ドア	石井 冴	大阪府
	秀逸	草いきれ同じ水飲む恋がたき	山崎 加津子	埼玉県
	秀逸	かまどうま足らざるものは足らぬまま	根来 眞知子	京都府
	秀逸	朝顔の巻きて開きて終るかな	木村 澄夫	兵庫県
	秀逸	エンディングノートまっさら鳥曇	村瀬 誠道	愛知県
	秀逸	空へ散る皇帝ダリア三島の忌	横井 博行	神奈川県
	秀逸	八月や人のかたちに砂を掘り	丹羽 志保子	岡山県
	秀逸	次の世へ春の障子の如きもの	横田 昭子	大阪府
	秀逸	敗荷やただ存在を愛すといい	田村 久美子	兵庫県
	秀逸	次郎柿甘し太郎冠者をるかやいっ	石川 久	神奈川県
	秀逸	詩とかけて死入口にスミレ咲いてる	淵上 信子	東京都
	佳作	蝶を追う子を追う母を追う機影	東金 吉一	東京都
	佳作	陽を巡る超高速の花と蝶	後藤 幸雄	長野県
	佳作	銀杏散る我等の目にはそう映る	坂倉 一光	三重県
	佳作	さざんかの白さへ闇が落ちて行く	西崎 久男	埼玉県
	佳作	春愁をかき分け温水プールかな	吉原 寿雄	大分県
	佳作	国家あり国旗をふればばったも飛び	竹村 甲子雄	愛知県
	佳作	象の蹴動けば翳る九月かな	小林 游	岡山県
	佳作	石鯀玉青年なれば夜半に吹く	小野田 裕	大阪府
	佳作	水蜜桃子供のどこか喰ふやうな	石川 暁子	神奈川県
	佳作	萩の花大地へことば置くやうに	山岸 英雄	神奈川県
	佳作	人間を捨てると見えてくる宇宙	小川 佳泉	岡山県
	佳作	季語になること許すまじ原爆忌	野上 卓	東京都
	佳作	タンカーの運んで来たる朧月	北野 清市	神奈川県
	佳作	あうらより少年となる大花野	大島 志朗	栃木県
	佳作	日溜りは宙にもありて雪螢	池田 崇	秋田県
	佳作	連れ立ちて男寒がる櫛もみじ	平山 道子	東京都
	佳作	鶏頭的一本が持つ宇宙観	鯉田 秀紀	大阪府
	佳作	水温むカミオカンデに舟浮かべ	木本 康雄	大阪府
	佳作	菊咲けり吾に近づく火のために	塚本 潤一	岩手県
	佳作	解けゆく天地の端に毛糸編む	杉山 和子	静岡県
	佳作	こころ置く処まだ無し蝸牛	高村 薫青	岡山県
	佳作	何食べてきのう過ぎしや寒波来る	宮澤 雅子	東京都
	佳作	摺み合ひするかも夜の裸木は	小田 島亮悦	東京都
	佳作	子の胸にひよこ地球にクロッカス	近江 満里子	神奈川県
	佳作	月光は生まれなかつた子の勾ひ	梶 等太郎	東京都
	佳作	頭陀袋に兎を飼いしあんぎや僧	磯貝 甚吉	埼玉県
	佳作	寒昂逢へない距離と時間かな	齋藤 まさし	北海道
	佳作	初恋に罪あらば初雪が罰	白石 水江	埼玉県
	佳作	目測の確かな歩み蟻の列	高橋 もこ	大阪府
	佳作	矢印に従ひゆきて終戦忌	平 千枝子	東京都

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第19回西東三鬼賞	大賞	流れたきかたちに流れ春の水	澤本 三乗	愛媛県
	秀逸	人体は耐震構造ころもがえ	東金 夢明	東京都
	秀逸	過去形が多数を占める冬の本	御中虫	大阪府
	秀逸	また熊が出た赤ん坊が生れたり	赤座 閑山	岡山県
	秀逸	八月の入り口のない玩具店	佐藤 日田路	兵庫県
	秀逸	空間を完成させる立葵	松本 孝介	栃木県
	秀逸	鳥渡るにんげんとして深呼吸	中岡 昌太	神奈川県
	秀逸	サクラサイタ尋常でない小学校	西田 唯士	大阪府
	秀逸	大昼寝虚子五百句を枕とす	津久井 紀代	東京都
	秀逸	春まだき三鬼の海が人を引く	伊藤 雅允	東京都
	秀逸	真言を吐き尽したる枯蓮	北川 正明	京都府
	佳作	また余震またの微動の水中花	荻原 枯石	栃木県
	佳作	マホロバへよろよろと憲法記念日	山田 浅夫	兵庫県
	佳作	脱ぎながらつながる時間蛇の殻	妹尾 武志	岡山県
	佳作	朝顔の一番花のあをさかな	曾根 新五郎	東京都
	佳作	ガウディを背負ひてゆるり蝸牛	三浦 豊	神奈川県
	佳作	初秋刀魚真砂女の白いカッポウ着	河口 俊江	埼玉県
	佳作	麦秋や卒然と白防護服	吉村 丈夫	千葉県
	佳作	海渡る蝶の記憶にエンタシス	東金 夢明	東京都
	佳作	八月や知覧に友の還らざる	佐藤 茂三郎	千葉県
	佳作	行列は恐怖のかたち葱坊主	由田 欣一	神奈川県
	佳作	永遠は知覚ならずや忘れ雪	小林 游	岡山県
	佳作	設定は月からやって来た少女	森田 欣也	愛媛県
	佳作	一本の冬の木立として歩く	小林 一昭	新潟県
	佳作	動きある時間を逸し黒揚羽	学璋	岡山県
	佳作	本物の象徴として石を置く	澤井 益市郎	千葉県
	佳作	砂時計の落ちる沈黙春の雪	坂詰 國子	東京都
	佳作	月ひとつ地球ひとつの縁かな	右手 采遊	岡山県
	佳作	目も耳も乳房も二つづつ卒業	日原 正彦	東京都
	佳作	七五三七ツの上は苦に満てり	石川 久	神奈川県
	佳作	三陸の怒涛声あげ声あげ冬	中村 重義	福岡県
	佳作	笹舟に乗せても軽い母である	小林 万年青	秋田県
	佳作	じかんの矢春の地球へ来て曲る	不破 元之	富山県
	佳作	鶏頭の末恐ろしき頭蓋かな	齋藤 俊次	秋田県
	佳作	冬至の陽硯の海へ没しけり	岡本 日出男	宮城県
	佳作	不舍兜太権大揃ひて桃を食む	福島 毅	岡山県
	佳作	蛇穴を出づ革命は連鎖して	笠原 タカ子	東京都
	佳作	神童は素数好み日盛	栗原 京子	福岡県
	佳作	矢印の通りに老いし花野かな	河野 けいこ	愛媛県
	佳作	満月を横切ってゆく戦闘機	白桃	兵庫県
	佳作	人類の血は鶏頭へ続くなり	紺野 蘆白	山形県

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第20回西東三鬼賞	大賞	人間は一つの仮説冬銀河	菊川 俊朗	神奈川県
	秀逸	戦争と平和へ時の日の振子	石山 秀太郎	埼玉県
	秀逸	人間の形状記憶盆踊	阪本 哲弘	奈良県
	秀逸	戦争のない嗚呼紫雲英田のまなか	小林 游	岡山県
	秀逸	吾亦紅放物線に憧れる	佐藤 武子	愛知県
	秀逸	空間は人の思いで充満し	大倉 正嗣	島根県
	秀逸	八月の暦のこぼす水の色	志村 美好	埼玉県
	秀逸	神無月ひとといふこといぬといふこと	真中 雪野	北海道
	秀逸	赤とんぼ直線の端に止まりけり	大杉 衛	京都市
	秀逸	呼びもせぬエレベーター来三鬼の忌	山本 左門	大阪府
	秀逸	ふくしまや葱は曲ることを知らず	小笠原 和成	秋田県
	佳作	逃げ水のなかの国際会議かな	横山 冬都	千葉県
	佳作	瓦礫てふ姿の財産陽炎へる	山田 浅夫	兵庫県
	佳作	百万本の向日葵核の傘の下	岩城 眉女	徳島県
	佳作	古時計ゆつくりと打つ終戦日	菊池 シュン	青森県
	佳作	冬に入る人体という大宇宙	竹澤 聡	神奈川県
	佳作	福島を忘れない柿二つ買ふ	斎藤 徳重	神奈川県
	佳作	影踏みをしように言う子の影が無い	雪心庵青柳鬼	長野県
	佳作	君がシュシュ解けば月夜のそよぐかな	田中 悠貴	東京都
	佳作	時間とは流れではなく思惟の蜷	小林 游	岡山県
	佳作	人類のまだ手放せぬ焚火かな	妹尾 武志	岡山県
	佳作	存在ということのあり釣忍	高野 公一	東京都
	佳作	ジェット機の音で泣き止む赤子かな	大西 政司	愛媛県
	佳作	翻る言葉のやうに朴落葉	笠原 タカ子	東京都
	佳作	胸薄き少女でありしクリスマス	石川 暁子	神奈川県
	佳作	夕空に匂ひありけり花木槿	山咲 臥龍	広島県
	佳作	糊強き船の卓布や三鬼の忌	土居ノ内 寛子	東京都
	佳作	後編の余生大切日向ぼこ	つかだ ぼんせき	長野県
	佳作	もう帰ろうどこへ帰ろう虎落笛	つるのこ	大阪府
	佳作	白旗の高さにかざす花すすき	脇屋 善之	東京都
	佳作	あれっきり海はあなたをかへさない	相馬 静恵	北海道
	佳作	原発忌戻らぬと戻れぬは違ふ	小栗 しづゑ	東京都
	佳作	油絵の下に油絵原爆忌	近江 満里子	神奈川県
	佳作	枯るゝ日の三鬼の墓や吾も古るゝ	白露	奈良県
	佳作	夏椿あともどりなき時を生き	下条 順子	岡山県
	佳作	柚子しぼる昭和の色のハイボール	曽我部 正之	岡山県
	佳作	戦争はいつも気を付け！いつも夏	水岩 瞳	愛知県
	佳作	にんげんになるまで惑う穴惑	上野 昭子	山口県
	佳作	黙禱のまなうら赤し広島忌	塚本 佐市	秋田県
	佳作	人体に知らぬ場所あり冬の月	河野 けいこ	愛媛県
	佳作	甘辛に屈伏させてやる牛蒡	鼓吟	東京都

第1回～21回西東三鬼賞入選句（大賞・秀逸・佳作）

	賞	句	氏 名	住所
第21回西東三鬼賞	大賞	水馬流るる時間跨ぎけり	万年劫	岡山県
	秀逸	正面の三月十一日の海	曾根 新五郎	東京都
	秀逸	伝承のところどころに曼珠沙華	北川 柊斗	京都府
	秀逸	万物の生ずる前の春の水	片山 淳子	山口県
	秀逸	生き合うてやがて個になる草の花	右手 采遊	岡山県
	秀逸	見たか蛇を烏が運ぶを見た動いてた	渡辺 信夫	大分県
	秀逸	ヤスクニは蟬の生まるる場所であり	片山 一行	愛媛県
	秀逸	地球の子地球の登山口に座す	柴 勇起男	栃木県
	秀逸	平面に全て置き換え蟻走る	往来	山梨県
	秀逸	桃の花三鬼の寺の勝手口	福島 閑雀	岡山県
	秀逸	真夜中のポスト勤労感謝の日	竹内 洋平	東京都
	佳作	流浪から流浪へ月の客となる	古市 絵未	埼玉県
	佳作	青鷺の自分の中に居る時間	藤本 晋	大阪府
	佳作	日盛りの未必の故意の街があり	山中 正己	東京都
	佳作	自画像はどれも頬こけ文化祭	金指 まさる	神奈川県
	佳作	身体昏く月光を欲すかな	小西 瞬夏	岡山県
	佳作	精神の磁針極北指して老ゆ	長尾 登	千葉県
	佳作	奸臣のごと鶏頭の集りゐし	伊藤 柳香	埼玉県
	佳作	菜の花や福島で死にたいと言ふ	吉村 丈夫	千葉県
	佳作	日向ぼこ胎内という無重力	東金 夢明	東京都
	佳作	原爆忌類句類想つづけるべし	野上 卓	東京都
	佳作	時間の層綴じる秋思のホッチキス	曾我部 正之	岡山県
	佳作	爽涼や見知りし仏更に見る	広瀬 元	沖縄県
	佳作	戦争が始まりさうな暑さかな	廣田 絹子	埼玉県
	佳作	澄みきって水みずいろを損なわず	高野 公一	東京都
	佳作	戦争のかすかな予感亀鳴けり	坂詰 國子	東京都
	佳作	銀色の冬のベッドに母と癌	松田 佳子	北海道
	佳作	顛顛を真神がよぎる日暮刻	赤座 閑山	岡山県
	佳作	国破れても展宏のスマレ咲く	中岡 昌太	神奈川県
	佳作	デジタルの最期狐火かもしれぬ	武田 悟	宮城県
	佳作	晩秋やだれも呼ばねど振り返る	小林 麻子	山口県
	佳作	水蜜桃くちびる少しづつ淫ら	松尾 初夏	徳島県
	佳作	ふるさとへ仕かけに戻るいたちわな	藤原 峻	岡山県
	佳作	さしのべる手を逸れてゆく冬の蝶	有坂 花野	東京都
	佳作	列島に福島てふ大枯野	岸本 千鶴子	大分県
	佳作	三鬼忌や暗きを走る波頭	山本 左門	大阪府
	佳作	エレベーター待つ昨日に過ぎしクリスマス	平野 周子	神奈川県
	佳作	寒茜臉の裏にムンクの絵	柳葉魚	大阪府
	佳作	原子炉も人も老いゆく赤のまま	池田 潤治	福井県
	佳作	秋蠅が来て原発の話する	木村 直子	福岡県
	佳作	雨の存在蜘蛛の囿の存在感	名木田 純子	岡山県